

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	高甫地区新規就農者用共同作業場	所在地	大字野辺592-3		写真
施設分類	産業系施設	所管課	農林課		
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	66.24		
居住誘導区域	非該当	防災関連施設	非該当		
設置根拠	須坂市新規就農者用共同作業場条例	設置の目的・経緯	農業の担い手を確保し農村の活性化を図ることを目的に、市内で新たに農業を開始した者等の農作業場等を確保するため。（新規就農者用共同作業場条例趣旨から）		交通アクセス
事業内容	農作業場	貸付の有無	有		
管理運営の状況	直営	委託内容			
備考（その他特記事項）					

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	1	地下		建築面積		延床面積	66.24
構造 （主たる建物）	W造				建築年度 （主たる建物）	1990	築年数 （主たる建物）	34
取得価格	8,240,000				耐震化の状況		新耐震基準施設	
帳簿原価	8,240,000				バリアフリー対応		未対応	
減価償却累計額	8,239,999				省エネルギーの対応状況		未対応	
老朽化率	100%				施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料				
	光熱水費	64	47	44	52
	維持補修費				
	減価償却費	0	0	0	0
	指定管理料				
	その他				
費用合計		64	47	44	52

収入	利用料等収入	52	52	52	52
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		52	52	52	52

収支	-12	5	8	0
利用者一人当たり収支	-6.00	2.50	4.00	0.17

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	市内に住所及び農地の所有権又は利用権を有し、農業経営を開始しておおむね 5 年以内の者。ただし、家業の農家を継承する者を除く。その他市長が認める者。（市税を滞納していないもの）	
開館時間	平日	24時間
	休日	24時間
休館日	無	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2023の比較
年間利用者数	2	2	2	2	100%
年間利用可能人数	2	2	2	2	100%
利用率	100%	100%	100%	100%	100%
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

# 公共施設評価結果シート

施設名施設名称	高甫地区新規就農者用共同作業場
---------	-----------------

## 1 各評価

### (1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）
合計		-2	

#### 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

### (2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
合計		2	

#### 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
合計		0	

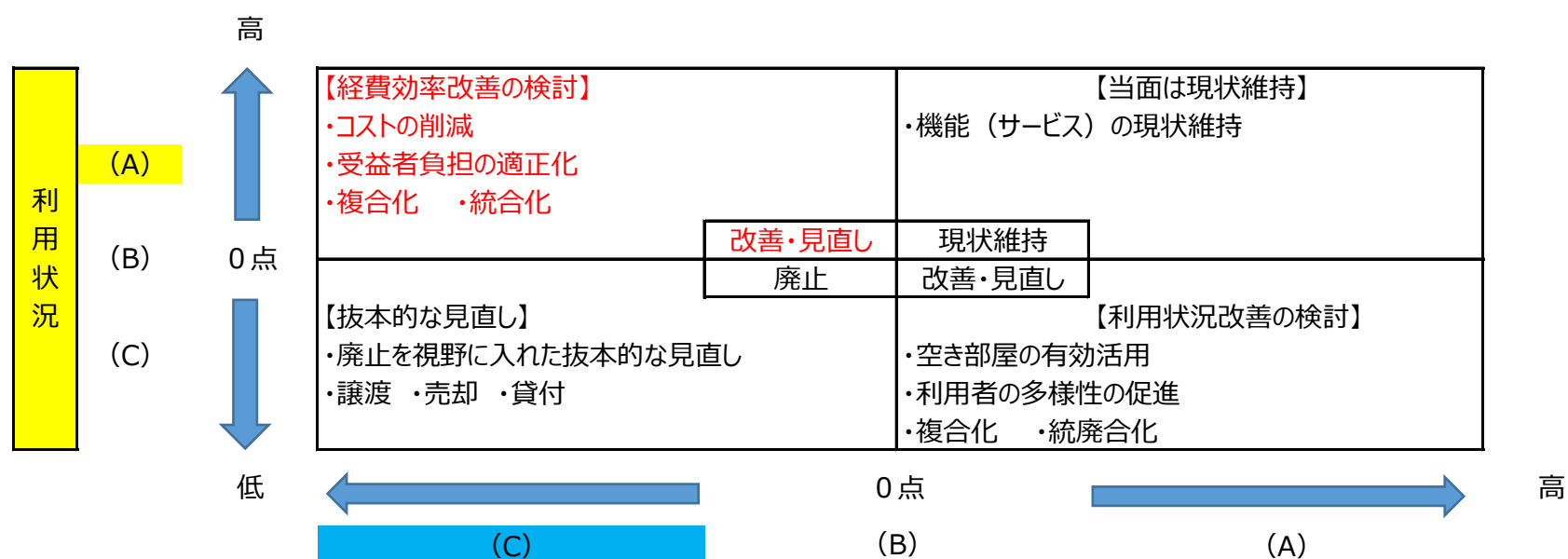
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

## 2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-2
縦軸	必要性による評価	2
	合計点数	0

【経費効率改善の検討】



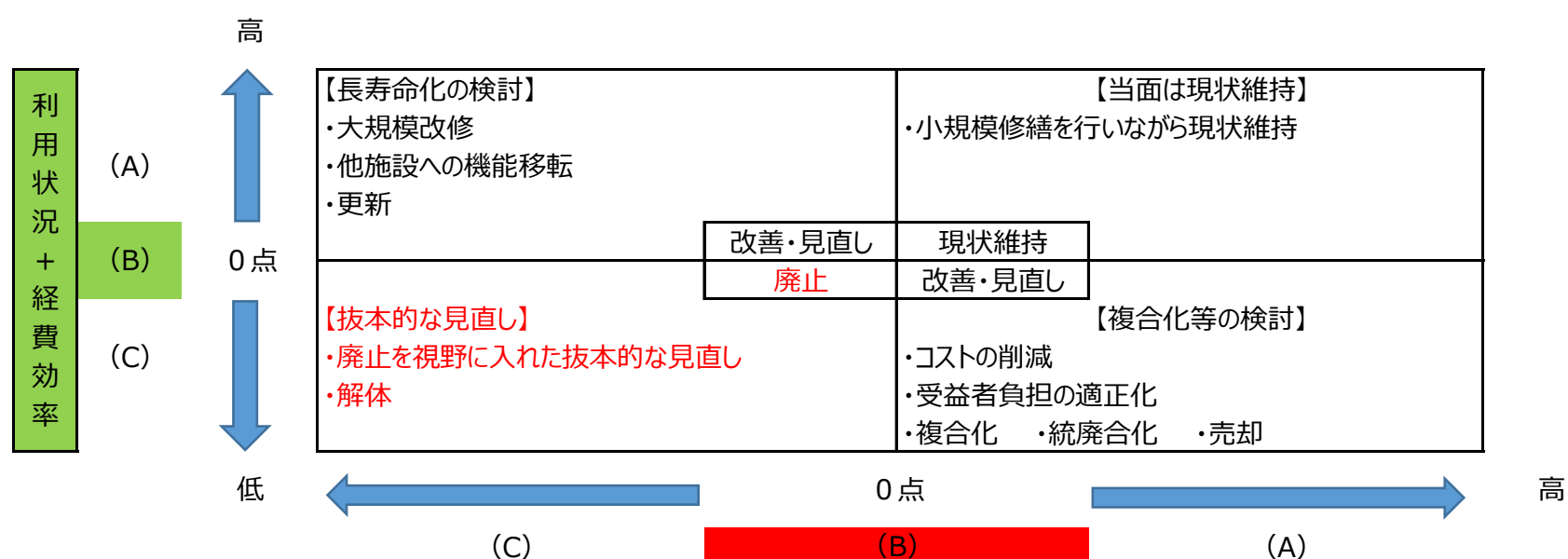
経費効率

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

## 3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	0	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	0	縦軸
	合計	0	

【抜本的な見直し】



建物性能

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下